

報 道 資 料

平成20年12月19日

件 名 米軍岩国基地に係る安心・安全対策に関する今後の対応について
概 要 このことについて、下記のとおり要望を行いましたのでお知らせします。

記

1 要望日時及び要望先等

- ① 平成20年12月19日（金） 13:30～14:00
防衛省地方協力局長 井 上 源 三（いのうえ もとみ）
- ② 平成20年12月19日（金） 15:00～15:15
外務省北米局長 西 宮 伸 一（にしみや しんいち）

2 当 方 岩 国 市 長 福 田 良 彦（ふくだ よしひこ）

3 同行者 山口県東京事務所長 児 玉 啓 一（こだま けいいち）

4 内 容

《福田市長の発言》

（1）安心・安全対策に関する今後の対応について

今回の国からの回答は、前向きな回答もあったが、市議会全員協議会で議員から指摘があったように必ずしも具体的な内容とは言えない部分もあった。

市としては、本件は、現実的な取組の一つと位置づけており、引き続き、市民の不安を払拭するため、更なる安心・安全対策の確保に向けて、国と協議を進めていく必要があるものと考えている。

ついては、国からも前向きな回答があった「国（中国四国防衛局）との間での定期的な協議の場」を設置し、十分な協議を行いながら、本市の実情に即した対応を求めていると考えているので、今後とも誠意ある対応を強くお願いする。

（2）住宅防音事業について

75W未満の区域における住宅防音工事に関しては、全国的な制度上の制約もある旨の説明を受けているが、他方、現行の防音事業促進に関しては、『更なる促進に努力してまいりたい。』との回答を得ており、感謝するものである。

ついては、目に見える形での措置が必要と考えており、平成20年度及び平成21年度における予算措置について特段のご高配をお願いする。

（3）「FA-18戦闘機の米国での墜落事故」について

去る12月9日未明に発生した「FA-18 戦闘機の米国での墜落事故」については、岩国基地においても、当該機種と同様の航空機が配備されていることから、当該事故に起因する市民の不安を払拭するため、次のことについて国からも米軍に対して申し入れるよう要請する。

- ①事故原因を早期に究明し、これを明らかにすること。
- ②米軍岩国基地にも同型機が所属していることから、再発防止について、航空機の点検整備や安全対策の徹底を図ること。

別紙（又は裏面）に続く

《防衛省の応答内容》

市長におかれては、日頃から、岩国飛行場の安定的使用に御理解と御協力を賜り、感謝申し上げます。

（安心・安全対策について）

空母艦載機の岩国飛行場への移駐等に当たり、周辺住民の皆様が安心して安全に暮らせる環境を確保することは極めて重要であると考えており、岩国市の実情を踏まえつつ、引き続き誠意をもって対応してまいりたいと考えているので、御理解と御協力をお願いする。

（住宅防音事業について）

岩国飛行場関係の住宅防音事業については、岩国市の安心・安全対策に係る御要望を踏まえ、厳しい財政事情ではあるが、予算の確保に向け、最大限努力しているところである。明日には、平成21年度予算の財務省原案内示等が予定されているところであり、具体的な予算額については、内示後、速やかにお伝えしたいと考えている。

（F A - 1 8 戦闘機の米国での墜落事故について）

今回の事故を受け、米側に対し、中国四国防衛局（12/11）及び本省（12/12）から事故原因に係る情報提供及び安全管理の徹底等について申入れを行ったところである。

現在、事故原因等については、米側で調査中とのことであり、米側から事故原因等に係る情報提供があった場合には、速やかに地元へ情報提供する等、適切に対応してまいりたい。

《外務省の応答内容》

（安心・安全対策について）

地元とよくコミュニケーションをとり、米側と協議し、ひとつでも前進できるようしっかり対応してまいり。

（F A - 1 8 戦闘機の米国での墜落事故について）

事故発生直後から、米側に事故原因の徹底究明等を申し入れている。今後も引き続き必要な対応をしてまいりたい。

岩国市総合政策部基地対策課
TEL 0827-29-5024（直通）